

地域課題解決

中京圏の若者を福井県に誘客するための施策を学生が提案

学校法人名古屋学院大学(名古屋市熱田区熱田西町、学長：赤楚治之)では、商学部の授業「経営実践(担当：高木直人教授)」を履修している学生が、福井県の地域課題解決に向けた施策を提案します。

地域課題をテーマとした「経営実践」の授業を1年通して受講し、中京圏の若者を福井県に誘客する施策について研究している商学部2年生12名が、授業最終日の2022年12月7日(水)に福井県および市町担当職員の方に施策をプレゼン発表し、意見交換を行う予定です。

施策提案をするにあたり9月5日(月)から8日(木)には、福井県内の観光地等の視察や観光事業者へ取材する「現地実習」を行います。

この取り組みは本学と福井県が締結している、学生の福井県へのUIターン就職を促進するため就職支援協定の連携事業のひとつです。

< 福井県での現地実習について >

◆日程

①大野市 : 2022年9月5日(月) 13:30 ~ 9月6日(火) 15:00

②池田町 : 2022年9月7日(水) 12:30 ~ 9月8日(木) 15:00

◆視察先

①大野市 : 平成大野屋、越前大野城、本願清水イトヨの里、大野市化石発掘センター 等

②池田町 : (株)まちUP いけだ、あそびハウスこどもと森、WOOD LABO IKEDA、龍双ヶ滝 等

◆内容

中部縦貫自動車道、冠山峠道路の開通を控え、中京圏との交流の拡大が期待される大野市および池田町にグループに分かれて現地実習を実施します。

< 施策提案プレゼンテーションについて >

◆日程

2022年12月7日(水)

◆場所

名古屋学院大学 名古屋キャンパスしろとり

【名古屋学院大学について】

「敬神愛人」を建学の精神とする名古屋学院大学は1964年に開学。8学部、大学院2研究科を擁するキリスト教主義の総合大学です。名古屋キャンパスを開設した2007年に名古屋市と連携協力に関する協定を締結し、さまざまな地域連携活動を推進してきました。2018年度には名古屋市熱田区を地域モデルにした研究が文部科学省・私立大学研究ブランディング事業に選定されています。